



「パノラマ」四季の部 金賞
日野市 橋本 昌利



「山報 高幡不動尊」百号発刊に当って

別格本山高幡山金剛寺 貫主 川 澄 祐 勝

平成四年暮に発刊されました「山報 高幡不動尊」はこの九月一日号でめでたく百号を迎えることになりました。

この山報発行につきましては関係者各位の熱心なおすすめ、ご指導、ご援助を賜りましたこと恊に忝く心より御礼申しあげる次第でございます。

ご存知の通り高幡山金剛寺は、一一〇〇余年の歴史を伝える関東有数の古刹でございますが、鎌倉末から南北朝に活躍された学僧儀海上人を中興開山にいただく学問寺で、関東十一檀林の最有力寺院の一つでもございます。

一方、高幡山は平安の丈六不動三尊（重要文化財）を祀る信仰寺としても有名でその外護者は三尊の造立に係わったと伝えられる平安時代の西党高幡氏系の諸氏族、鎌倉・室町期の高幡高麗氏等でございますが、住僧達はしっかりと寺を守ったらしくこれらの外護者との諍いらさしものは伝わっておりません。

然し江戸時代安永八年（一七七九）の大火で大日堂をはじめとする由緒ある伽藍十数棟が全焼し、儀海上人以来の貴重な聖教類を焼失しましたが、その後の歴代住持の尽力もあり現在でも関東有数の文化財の宝庫となっております。

現在の高幡山は先代秋山祐雅大僧正が、安永の災禍復興の象徴として建立された五重の塔を取り囲むような形で二十数棟の風格ある建物が建ち並び、関東稀にみる見事な景観をなしております。

また多摩丘陵の一角を取り込む三万余坪の緑豊かな境内は昔からつつじ、桜、紅葉の名所でしたが、先々代丸山寛雅和上が明治末年に四国八十八ヶ所霊場を勧請して裏山（愛宕山・高幡城跡）にお祀りしましたので、今でもウォーキングを兼ねての参詣者の絶える日はありません。更に何百種類もの紫陽花、山紫陽花の植栽、十二万個もの曼珠沙華の頒布も完了したので、今や高幡山は春の梅・桜に始まり、紫陽花、曼珠沙華、菊まつり、紅葉と一年中皆さんに楽しんでいただける寺となっております。

殊に「山報 高幡不動尊」発行以来、関東稀に見る由緒を伝える高幡不動尊の現状を多勢の方々にお伝えることが出来るようになりましたので、宝輪閣に続く奥殿の建設、新丈六不動三尊造立等の大事業が完成し、平成十三年秋からは平安の丈六不動三尊を京都国立博物館内国宝修理所「美術院」にお預けして千年ぶりの大修理が行われ、その後東京国立博物館で一年余り特別展示が催されもしたので、重要文化財「丈六不動三尊」は文字通り全国の皆さんに知られるようになりました。境内の諸行事も従来の国宝まつり、ござれ市、菊まつり等に加えて五月の新選組まつり、六月のあじさいまつり、七夕まつり、十一月の萬燈会、もみじまつり等、街をあげての行事に発展しております。

以上、山報百号を迎えるに当って高幡山の現状を概説させていただきました。

お不動さまの心——(九十八)

現代の世相から(58) 廣澤隆之

私が住職をしている寺はいわゆる檀家寺といわれる、檀家さん中心に儀式が行われる寺です。ですから高幡不動のように信者さんがご利益を求めてひっきりなしにお祈りを捧げる寺とはだいぶ違います。それでも多摩新四国八十八ヶ所(六十六番)や八王子三十三観音(四番)の霊場になつていますので、札所巡りに訪れ、御朱印を求める方々もお参りに来ます。また時期によつては札所巡りの団体での参拝もあります。

このような参拝の方が本堂に上がり、本堂でお経を唱えている間、できるだけ脇に控え、帰る際にはねぎらいの挨拶をするように心がけています。多くの方に清々しい気持ちでお帰りいただくようにとめております。その帰り際に、ときどき考えさせられる光景に出会いますというのも、お祈りをする場所に私が用意しておいたお経本を黙って持ち帰る方がいるからです。

寺では檀家の方の法事などの際に、皆さんでお経をお唱えし、

読経の功德を積んでいたのだというところで、参列席の前にお経本が重ねて並べてあります。このお経本はどこのお寺にでもあるものではないが、少しばかり工夫をしてあります。それはお経本の裏側に拝唱した経文の意味の解説が印刷してあります。

法事などが終わってから檀家さんやその親戚の方からほしいという要望があるときは喜んでお持ち帰りいただいています。ところが団体で札所巡りをされる方は私との近づきもないものですから、お経本をほしいと直に言ってくる方はまれです。お経本をほしい場合にはお金を経机において黙って持ち帰る人もいますが、中には寺にある本だから当然無料だろうといった様子で断りもなく持ち帰る人もいます。お経本を持ち帰ってもらってかまわないのですが、いささか礼儀に欠ける方がいるのは残念です。

本堂では、いやむしろ祈りの場ではといったほうがよいでしょうか、そこでは通常の経済の

ルールは成り立っていません。たとえば、お経本をほしい場合に、それは対価としての支払代金が決まっていらないのです。法事の後で読経された参列者がお経本を求めた場合、私は喜んで持ち帰って貰います。値段を聞かれたら無料がかまわないことをいい、大事に扱ってくださいと申しあげます。それでもないがしかのお金を経机に置いてゆく人もいます。その額はまちまちですが、そのお金は有り難くいただきます。

札所巡りの方がお経本を持ち帰るとき、黙って置いてゆく金額は硬貨一二枚でしようか。もちろんその額はお経本をつくる原価にもなりません。しかしお金を黙って置いて帰る気持ちを持ち難くいただきます。

このように一つのお経本に対して、無料の場合も、少額の場合も、時には高額の場合もあります。これはお経本が商品ではないからです。したがってここで支払われるお金は通常の経済のルールとは異なった意味づけがされているのです。仏さまの教えが記されたお経本は、その装丁やデザインに価値があるのではなく、そこに説かれた教え

に崇高な価値があるのです。その価値は金銭に換算できるものではありません。したがって経済のルールにもとづく販売は不可能になります。仏さまの教えという崇高な価値に対して、私たちはただ素直に頭を垂れていただくほかありません。

しかしこのような心情になると、わずかも御礼をしたい気持ちになるものです。その気持ちは仏さまに対する供養の形を



菩薩画像 山口静江画伯筆

とる場合が多いでしょう。供養とは、崇高な価値をそなえる方への心からの感謝の気持ちを形にしたものです。そして供養にはさまざまなものが捧げられます。貨幣経済が発達するにしたがって、この供養のために金銭が捧げられることが広まりました。こういった捧げる行為を布施といえます。

したがって布施は経済ルールに従った商行為とは違っていま

す。普通の商行為ですと、商品を渡してお金をもらう人が「ありがとうございます」と頭を下げます。しかし崇高な価値の前では、お布施でお金を支払う人が「ありがとうございます」と頭をさげます。

ここで最も大事なのはこの一連の行為を成り立たせる心のあり方です。端的にいえば信心が布施を支えているのです。祈りの場では、この信心からさまざまな行為がなされます。

先ほどの経本の例でいえば、その経本をただで持ち帰ろうが、少額をおいて持ち帰ろうが、構わないのです。ただその経本に説かれる崇高な価値に頭を下げていただきたいのです。ところが寺にあるものはただで持ち帰って構わないといった態度では困りものです。そのような振る舞いをするお年寄りを見ると、現代社会が見失ったものがこのような形で見えてくるような気がしてなりません。それでも仏さまはお参りした人にご加護の哀愍の情けを垂れることでしょうか。

.....

廣澤隆之先生のプロフィール

●大正大学名誉教授
●浄福寺住職

当山の記念碑・文学碑(10)

弁天池 大燈籠及び庭石一式

山梨県北杜市清里

清里ハム社長

細野 昌 治氏奉納



弁天池改修記念碑
(平成19年11月建立)

清里ハム社長

細野昌治氏について

総高三・二m

清里ハム社長細野昌治氏は高幡山の篤信者世田谷細野家の出身で私の小僧時代からの知り合い、さまざまな活躍の後、八ヶ岳山麓に清里ハムその他の事業を展開し地域振興に貢献。事業を閉じた後その一部を高幡山に寄進されたものである。

世界糖尿病デー五重塔ブルーライトアップ

今年も世界糖尿病デーにちなみ五重塔のブルーライトアップ及びチャリティーイベントを左記の通り開催します。

◇五重塔ブルーライトアップ 十二月十二日(土)～十八日(土)

◇チャリティーイベント 十二月十二日(土) 午後五時開演

会場 塔院大ホール 入場無料

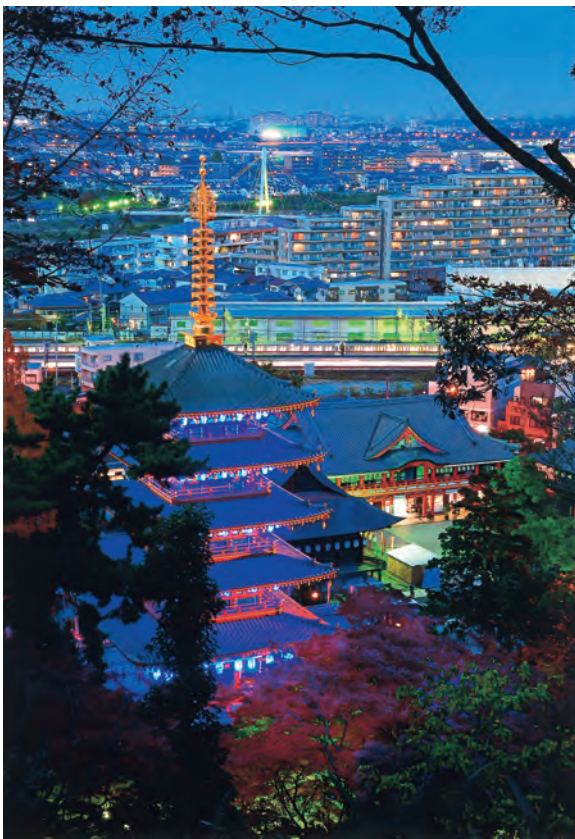
・山内僧侶法話

・糖尿病レクチャー

・ブルーライトアップ寄席

出演 春風亭百栄・立川笑二・マグナム小林

・主催 朝比奈クリニク 後援 高幡不動尊 協賛 日野医師会



四季の部 銅賞「暮れゆく高幡」 府中市 能登 正俊



あじさいの部 金賞「あじさいも元気」 八王子市 近藤 てる子

高幡不動尊 フォトニュース



「寺子屋」参加の皆さんと 7/31



総本山根来寺 中村元信猯下来山 5/26



四季の部 銀賞「縁結び」
調布市 北野 修



大施餓鬼会 8/15



遍照講多摩連合会～大友栄範先生 6/29



大盛況の薄茶接待 豊泉寮にて 6/15



遍照講の詠歌奉詠 8/15



あじさいまつり 写真コンクール1900枚の審査 7/26

ご奉納御礼

左記ご奉納頂き大変有難く厚く御礼申し上げます。

(敬称をすべて省略させていただきます)

品名 短刀一振

長さ二五・八cm 直刃すくは

人間国宝

大隈 俊平 謹作

奉納者 日野市日野本町二丁目

猪鼻 洋助

(下段参照)

(解説) 大隅俊平氏は昭和七年太田市富沢の農家の生れ。わが国を代表する刀匠の一人、平成二十一年十月四日没。直刃すくは一筋に研さんを重ね、平成九年人間国宝に認定される。

この作品は平成十三年早春宮内庁から依頼があり、皇太子さまのご皇女敬宮愛子内親王殿下のご守護刀として打たれた刀の控作で、銘は「大隅俊平謹作・平成十三年八月吉日」俊平氏の作品は皇室・日光二荒山神社を始め全国の著名な社寺・美術館・刀剣愛好家に納められております。又俊平氏は生前太田市(六十七振)を始めに百振の寄贈等を目指しておりましたが、残念ながら現在の九十五振で残り数振。この守刀もその一振りです。

品名 不動明王立像(木彫)

奉納 誠興物産株式会社

代表取締役 佐野 彰一

境内整備緑化資金 寄進者芳名

(平成二十九年五月一日〜七月三十一日)

住所不明 匿 名

町田市 網 野 ゆかり

彦根市 西 澤 政 男 (三回)

彦根市 西 澤 加奈子 (二回)

日野市 島 田 妙 子

ひがん花球根 奉納者芳名

(平成二十九年五月一日〜八月二十日)

一〇〇〇〇個 匿 名

七五〇個 立川市 内野 光子

一五〇個 狛江市 岩佐 光子

一〇〇個 西東京市 笠原ヒロ子

一〇〇個 匿 名

五〇個 昭島市 美坂三佐子

一〇個 相模原市 竹越 フサ

千体地藏尊 奉安者芳名

(平成二十九年五月一日〜七月三十一日)

荒川区 小 松 実 継
杉並市 齋 藤 珠 世
相模原市 酒 井 理 考

幟旗奉納者芳名

(平成二十九年五月一日〜七月三十一日)

二本 日野市 阪 口 喜美子

上尾市

(株)明生建設代表取締役

栗 原 寛 明

上尾市 栗 原 寛 明

桶川市 小 淵 あずさ

練馬区 鈴 木 真紀子

西東京市 今 井 大 煌

清瀬市 沖 山 順 子

日野市 有 泉 雅 弘

八王子市 木 下 義 徳

八王子市 木 下 良 子

町田市 諏 訪 和 世

町田市 山 本 芳 男

南都留郡 佐 藤 久美子

長崎市 中 村 勇 作

短刀 箱書

敬告愛子内親王御守刀を控 大隅俊平謹作

刀剣画 (荻田直治筆)



猪鼻洋助

奉納

山主の主な動静

6/4少年柔剣道奉納大会・6/8成田山勸学院来山
・TBSテレビ取材・6/10普門寺本堂落慶法要
(大導師)・6/11日本拳法奉納大会・6/15青葉まつり・6/19幡山会総会(立川)・6/24秩父高幡不動講団参・6/25空手奉納大会・7/30ひのよさこい祭総踊り(欠)・8/5俳句大会表彰式(欠)・8/6短歌大会表彰式(欠)・8/3〜8/11日野市立病院入院・8/15大施餓鬼会・8/20写真コンクール表彰式・8/27・8/28高幡不動盆踊り大会
(この間まちおこし実行委員会その他各種役員会の殆んどを欠席されました。)

諸行事に参加して

(敬称略)

武相二十八不動尊
酉年大開帳巡拝団

清瀬市 沖山 順子
二日間とも晴天に恵まれた中、各々のお寺さんの歓待を受けてお参りさせて頂きました。普段なかなかお寺の中へ入ってのお参りは叶いませんで僧侶の方の先達を受けて良いお参りでした。

三鷹市 田中 信夫
ドライバーさん始め各お寺様の多くの方のお世話になり巡拝することができました。様々なお不動様を拝観できて有難さでいっぱいです。楽しかったです。十二年後が楽しみです。



武相不動尊結願法要 (5/28)

新宿区 Y・K

初めて参加いたしました。見えない存在からの御加護は常を感じておりますが、この度の巡拝で更に仏神からの大きな応援をいただけたように思います。身が引きしまり心も整い、清々しい思いです。本当に有難い巡拝でした。お礼を申し上げます。

中野区 島田 久子

平成十七年に続いて二回目満願出来ました事、有難うございました。次の三回目は九十五才になるので健康に注意して是非参加したいと思っております。あちらの入口で不動様に心よく迎えてもらえると様、常に信心にはげみたいと思います。

五月大祭講演 (5/28)

「お天氣の秘密、全部教えます！」
お天氣キャスター・氣象予報士 森田正光先生

調布市 原 和子

楽しく聞かせていただきました。氣象の簡単な勉強を試みようと思えました。感謝自然体で話をしてもらい、良くわかるお天氣の事を聞くことが出来ました。ありがとうございました。

立川市 太布 秀甫

森田予報士のおもしろい天氣、空もよう、雲の出来方が

五月大祭記念講演 (5/28)
森田正光先生

分かり易く良かった。

青葉まつり記念法話 (6/15)

「仏さまに祈る」

感謝の気持——
金剛寺 中田隆範先生

大田区 手越 五一
中田先生のお話し、自分の事を合せてお話し下さり有難うございました。感謝の気持ちは何にも勝るものと思えます。

府中市 鈴木 園子

ふと思いつき、高幡不動さんに寄せていただきました。弘法大師様の生誕の日と知ったのは来てからでした。法話法要に参加させて頂けた事、導きを感じています。有難うございました。

八王子市 石井 雅子

私は弘法大師様のおひざもとに生を受け、ずっとお大師様を信仰して参りました。現在七十三才で、四国・西国・

坂東・秩父と札所を満願し、今は八王子に住んでいます。近くに高幡不動さんがあり有難い事です。大師堂に上がらせていただき、お大師様とよもやま話しや故郷の話をさせていただき、心安らかに過ごさせていただいています。

東大和市 鈴木 和洋
弘法大師・興教大師の人生を分かり易く教えて下さいました。法要も感動しました。

山内八十八ヶ所クイズ

江東区 宮崎 朋子
山あじさいの種類の多さに驚きました。飾らない姿にとっても癒されました。また、山の斜面に咲いているので「見上げるあじさい」も味わい深かったです。お大師様とあじさい……来てよかったです！今度は紅葉の季節に八十八ヶ所巡りをしたいと思っています。

文京区 関 澄隆

大学卒業から三年ぶりに高幡へ戻る事ができました。あじさいを観賞しながら旧友との親交を深めるきっかけとなりました。

目黒区 黒田ゆう子

雨上りのお山はそこににアジサイの花が咲き、薄日がさす中、鳥のさえずり、なんとなりの早い蟬の声まで聞こえました。見晴台からはスカイ

ツリーと雪の残る富士山まで見えました。楽しい時間を過ごしました。

寺子屋 (7/31)

宮澤 紗花
ウォークラリーで少ししかれたけど楽しかった。鳴り龍は手をたたいたその人だけにしか聞こえなかったのでもしろかったです。

浅原 生水
初めての寺子屋、ねんじゅづくりが楽しかったです。

みやざわまな
ごましゅぎょうでは手がカレーのにおいになったけれど、なりりゅうのへやへいって、おもしろい話を聞いたので、またきてみたいとおもいました。

中村 亮介
楽しかったので、またやりたいです。

青葉まつり記念法話 (6/15)
中田隆範先生

秋の行事案内

(毎月十五日にはお焚き上げが行われます)

◆九月

- 10日(日) フリーマーケット
- 17日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(木) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
- 23日(祝) 彼岸会法要(午前七時) 大日堂
- 24日(日) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(木) 秋季大祭大般若会 お花講総登壇日
- 記念法話 講師 真言宗智山派前宗務総長 東覺寺 住職 小宮一雄先生
- 演題 「ご供養の心」

◆十月

- 8日(日) フリーマーケット
- 15日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(土) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
- 21日(土) 多摩八十八ヶ所巡拝結願法要
- 記念法話 講師 武相不動霊場第二十六番札所 高野山真言宗光明寺 住職 植野法稔先生
- 演題 「未定」

- 24日(火) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(土) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶
- 28日(土) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(土) 第四十七回 高幡不動尊菊まつり (下段参照)

◆十一月

- 11月(中) 七五三祈願 (下段参照)
- 11日(土) 五重塔ブルーライトアップ (三頁参照)
- 12日(日) フリーマーケット
- 18日(土) 30日(木) 高幡不動尊もみじまつり (九頁参照)
- 18日(土) 19日(日) 高幡写仏会 講師 牧有恵先生
- 19日(日) ござれ市(がらくた市)
- 21日(火) 月例写経会(午後一時半) 法話 山内僧侶
- 22日(水) 23日(祝) 萬燈会・たかはたもみじ灯路(九頁参照)
- 22日(水) 23日(祝) 嵯峨御流華展
- 23日(祝) 花塚供養
- 24日(金) 千体地藏尊月例法要(午後二時) 法話 山内僧侶
- 28日(火) 月例祭(ご縁日) 法話 山内僧侶

第四十七回高幡不動尊菊まつり

恒例の高幡不動尊菊まつりが左記の通り開催されます。皆様お誘い合せてご鑑賞下さい。

記

- 一、月 日 十月二十八日(土)～十一月十七日(金)
- 一、会 場 高幡不動尊境内
- 一、参 加 多摩菊花連盟参加十一市の菊作り愛好家
- 一、出 品 厚物・管物・一文字・懸崖・福助・だるま・盆栽・切花等一、二〇〇点余り
- 一、特別出展 参加十一市の特設花壇及び特志者の大作(千輪咲・三重塔)等も出品。
- 一、審 査 十一月五日・十三日の両日に行われ、内閣総理大臣賞をはじめ各大臣賞・東京都知事賞等が贈られます。

※期間中は毎日菊作りの相談及び菊苗の販売が行われます。展示された菊花のうち切花は十一月七日・十四日の両日朝から、福助は十一月十三日午後一時から即売されます。※菊の育て方講習会も行われます。十月三十一日、当日申込・参加費千円・問い合わせは日野市観光協会(TEL 五八六・八八〇八)まで。
又、期間中のご縁日・日曜・祝日等は七五三詣とも重なり大変混み合いますので、なるべく電車・モノレール・バスをご利用下さい。



七五三・新生児祈願のご案内

お子様の健康をお祈りする七五三祈願は十月～十一月中毎日、新生児祈願は一年中ご修行しております。

◎ご修行時間 午前九時～午後四時

◎ご祈願料 金三、〇〇〇円以上 (お札・供物料含む)

※堂内ではお子様を中央前に、ご家族の方はその後ろにお座り下さい。



高幡不動尊もみじまつり

十一月十八日(土) ～十一月三十日(木)

境内から裏山にかけては、樹齢二百年以上の古木三百株・約三十年の稚木一〇〇〇株が集中しています。特に五重塔・大師堂・鐘樓堂付近のもみじは見事でライトアップも予定されています。

もみじまつり期間中の主な行事・催しは左の通りです。

- 十一月十八日・十九日 高幡写仏会
- 十一月十九日 ござれ市
- 十一月二十一日 月例写経会 法話 山内僧侶
- 十一月二十二日・二十三日 萬燈会・たかはたもみじ灯路
- 十一月二十二日・二十三日 嵯峨御流華展
- 十一月二十三日 花塚供養
- 十一月二十四日 千体地藏尊月例法要
- 十一月二十八日 ご縁日

萬燈会・たかはたもみじ灯路

当山では左記の通り二日間に亘って萬燈会を奉修し、皆様
の七難即滅・七福即生並びにご先祖様の追福菩提をお祈りさ
せていただきますので、皆さまお誘い合せてご参加下さい。
尚、両日とも午後六時から門前町一帯で、約二四〇〇個の
置灯明が点灯され、「たかはたもみじ灯路」の幽玄な世界が
現出されますのでお楽しみ下さい。

記

- 一、月 日 十一月二十二日(水)・二十三日(祝)
- 一、会 場 高幡不動尊五重塔
- 一、行 事 法話・詠歌奉詠
萬燈会(塔院)
塔婆供養(五重塔前)
奉納コンサート
- 一、御燈料 金一、〇〇〇円也(二人につき)
- 一、経木塔婆 金一、〇〇〇円也(二霊につき)
- 一、浮燈明 金 五〇〇円也(五重塔の池に浮べる燈明です)

大提灯ご奉納のお願い



ご奉納いただいた大提灯

当山では萬燈会・正月・大
祭・節分等の大行事の折、各
所に大提灯をお飾り致します
のでご協賛の程お願い申しあ
げます。

- 尚、募集要項は左の通り
- 一、品 名 萬燈会及び大祭
用大提灯(ご奉
納者芳名入り)
- 一、募集数 五十基
- 一、志納金 金五〇、〇〇〇円
- 一、申 込 当山事務局又は
宝輪閣受付
- (ご連絡下されば申込書をお
届け致します)

高幡写仏会のお知らせ

自分の手で仏様のお姿を写経のように写して、その後、御
本尊不動明王に奉納する写仏会です。
当山では年二回(あじさいまつり・もみじまつりの会期中)
写仏布教の第一人者、画僧牧宥恵師を招いて開催しています。
写仏前の御法話も人気があります。是非この機会に御参加い
ただき、お不動様との法縁と写仏を自身の浄行とされ御本尊
不動明王のご加護を授け下さい。

記

- 日 時 十一月十八日(土)・十九日(日)
- 会 場 午後一時～午後四時(受付 正午より)
宝輪閣地階ホール(両日共、牧宥恵師の作品を展
示します)
- 内 容 午後一時 法話
午後二時 写仏
午後四時 写仏奉納大護摩修行
- 会 費 貳千円 (材料費含む)
- ◆お申込・高幡不動尊事務局まで
電話 〇四二五九一〇〇三二

第九回

藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日

イベントのお知らせ

日野市郷土資料館の勝五郎
生まれ変わり物語探求調査団
では、十月十日に迎える「藤
蔵・勝五郎生まれ変わり記念
日」に際し左記の通りイベン
トを開催致しますのでお誘い
合せてご参加下さい。

記

- 日時 十月七日(土)
午後一時半～四時
- 会場 五重塔地階大ホール
- 募集 二百名(直接会場へ)
- 参加費…無料
- イベント内容
- ①子孫が語る勝五郎生まれ変
わり物語・映像紙芝居
- ②記念講演会
吉田麻子氏(相模女
子大学・学習院女子
大学講師)
- 演題「交響する死者・生者
・神々―平田篤胤の
世界」
- ※終了後、希望者を藤蔵墓地
にご案内します。
- 共催 高幡不動尊金剛寺
日野市郷土資料館
勝五郎生まれ変わり
物語探求調査団

第三十四回あじさいまつり

今年のおあじさいまつりは、お天気に恵まれ多勢の方々がご来山なさいました。当山茶道教室のご奉仕による薄茶接待では三二九四名の皆様が楽しんでいただきました。

少年柔剣道奉納大会 6/4

日野警察署内の道場で稽古に励んでいる少年少女が、すばらしい奉納試合を繰り広げました。各部受賞者は次の通りです。

○柔道
・少年の部
優勝 高井 陽郷
準優勝 岡庭 某里
打止め賞 半田 魁聖

「自分は今回で六回目なのですが、一度も賞を取ったことがありませんでした。今日は試



真剣勝負の子どもたち
～少年柔剣道大会～

合の内容は良くなかったです。最後のあじさいまつりで打ち止め賞を取れて良かったです。これからも柔道の練習に取り組んで試合で良い成績を残せるようにがんばります」

○剣道
・少年の部
優勝 片桐 悠太

「ぼくは小学校一年生から剣道をはじめ、今大会は二回目です。おしゃか様の前で試合をするのはさんちようしましたが『勝つぞ』という気持ちを強くもって試合をしました」

準優勝 真野 海
打止め賞 新坂 優歩

日本拳法奉納大会 6/11

三十四回目を迎えた日本拳法奉納大会は二十二団体一七名の参加で終日熱戦が繰り広げられました。

本年の参加団体と各部受賞者は次の通りです。

明治大学・中央大学・立教大学・國士館大学・東洋大学



熱戦を制すのは？
～日本拳法大会～

・早稲田大学・日本大学・慶應義塾大学・青山学院大学・明治学院大学・駒澤大学・南平拳友会・黒綾館・府中道場・修猷塾・大宮第三二連隊・板妻拳志会第三四連隊・滝ヶ原駐屯地教導連隊・練馬第一連隊・立命館立拳会・関西学院弦月会・駿台拳法クラブ。
・三段以上の部

優勝 佐藤 典英
準優勝 瀧口 雄太
三位 伊藤 三千朗

敢闘賞 福岡國允・棚原雅巳
興水 徹・長田吉宏

・二段の部

優勝 齋藤 晶
準優勝 岩崎 勇太
三位 中村 圭志
西見 優汰

敢闘賞 中津匡史・内田陽志
片野正人・岩津風太
・初段の部

優勝 藤倉 悠
準優勝 中西 裕樹
三位 丸山 竣也

敢闘賞 天野陽仁・石井佑太
小川友太郎・國分洋平

・級の部

優勝 伊奈 慶貴
準優勝 北村 晴基
三位 深井 大吉

敢闘賞 正田力丸・三森秀吾
塚本雄介・安藤 涼

・女子の部

優勝 生稲 有里
準優勝 風味由記子
三位 新井 佐保

敢闘賞 渡辺玲那・須井理沙子

空手奉納大会 6/25

大会当日は境内にて演武・ライトコンタクト空手（グループ着用）・厚板の試合が披露されました。各賞受賞者は次の通りです。

・一般の部

優勝 八木 武寛

「今年も無事に三十四回あじ

さいまつり大会を迎えることができて嬉しく思います。今後も日頃の稽古に精進していきます」

・ライトコンタクト空手
努力賞 園田 修平

「道場によって練習内容が大きく違う事に驚きました。それと板を割ったら痛かったです」

・ライトコンタクト空手
敢闘賞 吉岡 裕真

「初めてのあじさいまつりで緊張しましたが、他道場の人の動きが見れて勉強になりました」

尚今年の参加団体は日本空手道不動会本部・空手道多摩不動会・日本空手道不動会八王子支部・空手道武現塾の皆様です。



お見事！ 試合
～空手大会～

あじさいまつり全国俳句大会

兼題は、一二九四名・二五八八句の応募があり、十四名の先生方に各七十句選を依頼し合計点で上位三十名の入選が決まりました。

上位入選者へ一位～三位へ
大寺の空抜けゆく松手入れ

八王子市 根本 國男
幼子もうなづく法話あたかし

牛久市 坂本ふく子
紫陽花の山を揺るがす護摩太鼓

新宿区 岩瀬 恵子

④葛野 良子 ⑤小野 勝久

⑥齋藤たけ子 ⑦田村登代子

⑧長谷川 瞳 ⑨新井よしを

⑩渡邊美代子 ⑪長沼 幸治

⑫安住 正子 ⑬小山内里路



俳句大会表彰式

⑭池上ウタ子 ⑮鈴木三光子

⑯佐々木リサ ⑰田嶋 利子

⑱竹内真知子 ⑲大山とし子

⑳後藤はるよ ㉑矢島 艶子

㉒野川千佳子 ㉓米田ふさゑ

㉔柿谷 妙子 ㉕古川日出子

㉖大原 芳村 ㉗石田 雄進

㉘志田 礼子 ㉙工藤 千代

㉚武山 昭

兼題の選者は次の先生方です。(敬称・肩書略・五十音順)
大久保白村・大竹多可志

鍵和田柚子・柏田 浪雅

阪田 昭風・笹木 弘

鈴木 貞雄・鈴木 節子

高橋 悦男・棚山 波朗

橋爪 鶴磨・星野 高士

山崎千枝子

の諸先生及び当山貫主

表彰式・記念俳句大会 8/5

記念俳句大会は八月五日高幡不動尊を会場に盛大に行われました。当日の句会は当季雑詠二句で三〇〇名の方が出句、出席諸先生方の選で上位三十名が表彰されました。

尚、当日は東京都俳句連盟事務局長 小島哲夫先生による『日野の俳人―星布・歳三・祐勝』と題しての記念講演が行われました。



小島哲夫先生の講演
「日野の俳人―星布・歳三・祐勝」

短歌大会 8/6

短歌大会は二〇五名・四一〇首の投稿がありました。

表彰式には一〇八名の出席があり、諸先生方による講評が行われました。尚、選者・講評をおつとめ下さった先生は次の方々です。(敬称・肩書略・五十音順)

大河原惇行・狩野 一男
長澤 ちづ・松坂 弘

の諸先生及び当山貫主
上位入賞者へ一位～三位へ

紫陽花のなかななるわれの頬
つみしあの日の君の手の青かりき

山あぢさゐ細き花莖透き見えて
木漏れ日遊ぶ寺庭の昼



たかはたもみじ灯路 京王ストア前
11月22日(水)・23日(祝) 開催 (写真は28年)

横浜市 河北 笑子
紫陽花の小みちは歩みゆるめゆく
思ひ出急にあふれ出ぬよう

八王子市 島田 容子

④大木かづ子 ⑤坂本 由子

⑥近藤和歌子 ⑦許斐 文代

⑧土信田芳江 ⑨佐藤 彰子

⑩黄金井春男 ⑪志村 美好

⑫大野 綾子 ⑬御子柴万里子

⑭最上智恵子 ⑮宮田 美子

⑯中道 操 ⑰千明 武紀

⑱江口 良子 ⑲立山 宏子

⑳大塚 禎三 ㉑乙幡 悦子

㉒澁川 弘 ㉓土屋 秀雄

㉔田村 悦子 ㉕桜井 栄一

㉖栗本佐多子 ㉗石川るみ子

㉘柴田 慶子 ㉙徳植 弘幸

㉚石坂 葉子

山内八十八ヶ所めぐりクイズ

山内八十八ヶ所クイズの正解

①今年は戊辰戦争より

「一五〇年」

⑩たかはた橋の柵に彫られて
いるのは 「五重塔」

②多摩都市モノレールが連絡
していない鉄道は 「JR武蔵野線」

③山の見晴台から見えるのは
「東京スカイツリー」

④西年生まれのお守り本尊は
「不動明王」

⑤雲取山の標高は 「二〇一七m」

⑥境内で産卵するカエルは
「アカガエル」

⑦「西郷どん」を鹿児島では
「せごどん」

⑧日野市と直接つながっていない橋は
「多摩大橋」

⑨虚空蔵菩薩さまから福德智
恵を授かる 「十三参り」

本年は八四名の方に解答いただき、全問正解は三〇六名でした。

あじさいまつり写真コンクール

今年も総数一九〇一点とたくさん作品を応募いただき、七月二十六日に審査会が行われ、合計一〇九点が入賞しました。
入賞作品は九月末日まで五重塔千体堂に、その後十一月二日より十一月七日まで京王線聖蹟桜ヶ丘シヨッピンセンターA B館五階ブリッジギャラリーに展示します。

応募作品 計一、九〇一点

あじさいの部 一、一四三点

四季の部 七五八点

応募人数 三五九人

上位入賞者 銅賞以上

〈あじさいの部〉

金賞	八王子市	近藤てる子	本号フォトニュース参照
銀賞	八王子市	伊豫田みどり	下段参照
〃	八王子市	伊豫田滋雄	六月一日号掲載予定
〃	八王子市	佐々木芳子	三月一日号掲載予定
銅賞	調布市	新井 利彦	六月一日号掲載予定
〃	日野市	羽賀 道行	三月一日号掲載予定
〃	立川市	金澤 泰雄	次頁参照
〃	八王子市	池口 保	下段参照
〃	八王子市	星野 利成	次頁参照

〈四季の部〉

金賞	日野市	橋本 昌利	巻頭写真参照
銀賞	国分寺市	本多 忠雄	次頁参照
〃	日野市	野村 明雄	十二月一日号掲載予定
〃	調布市	北野 修	本号フォトニュース参照
銅賞	八王子市	渡辺 邦昭	十二月一日号掲載予定
〃	府中市	能登 正俊	本号三頁参照
〃	八王子市	原田 恵一	三月一日号掲載予定
〃	日野市	平林 勇	次頁参照
〃	八王子市	三島 邦夫	下段参照



四季の部 銅賞「ワンダフル」
八王子市 三島 邦夫



あじさいの部 銀賞「賑わうござれ市」
八王子市 伊豫田 みどり



あじさいの部 銅賞「上手に撮ってよ!」
八王子市 池口 保



あじさいの部 銅賞「不動堂前庭を眺む」
立川市 金澤 泰雄



四季の部 銀賞「彼岸花を訪ねて」
国分寺市 本多 忠雄



あじさいの部 銅賞「子供と優しい貴主さん」
八王子市 星野 利成



四季の部 銅賞「萬燈会の夜」
日野市 平林 勇



四季の部 佳作「参道に灯火」
日野市 當麻 政子



四季の部 入選「奉納神輿練り」
八王子市 谷合 正至

山内消息①

職員研修旅行

仏教・信仰・歴史等についての見聞を広める事を目的とした職員研修旅行が、今年は一泊二日の日程で六月五〜六日・七日〜八日の二班に分かれ行われました。

今回の目的地は沼津から西伊豆方面となり、初日は当山よりバスにて出発。古くから伊豆国一の宮として栄え、源頼朝が源氏再興を祈願したことも知られている三嶋大社に参拝、その後中伊豆ワイナリー、堂ヶ島天窓洞などを見学しました。

二日目は茶畑で茶摘み体験



茶摘み娘に变身
～職員研修旅行～

当日は両祖大師と真言八祖をおまつりし、興教大師の生涯をつづった「興教大師行状絵巻」を特別展示しました。また、法要に先立ち、横浜市金剛寺ご住職中田隆範先生に「仏さまに祈る―感謝の気持ち―」と題してご法話をいただきました。(上田記)

幡山会総会 (6/19)

六月十九日、高幡不動尊の法類会である幡山会総会が立川パレスホテルにて、当山貫主をはじめ会員総勢三十二名の出席で開催されました。

総会のはじめに清水博雅会長のご挨拶、続いて諸報告・会計報告等をすませ懇親会に移りました。宴の途中で毎回恒例となっている会長マジックショーに加え、今回はなんと腕立て伏せをご披露。ご高齢を感じさせない若さの秘訣をご伝授いただきました。

(伊大知記)

あじさい毬切り (7/11)

七月十一日、気温三十度を



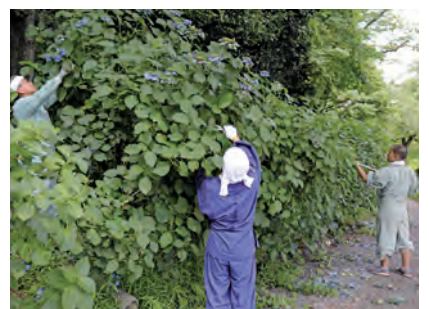
「両祖大師誕生和讃」を奉詠
～青葉まつり ご詠歌～

超える暑さの中、ボランティアの方々と同内職員を含めて総勢五十名以上の参加であじさいの毬切りを行いました。今年も楽しませてくれたあじさいに感謝をしつつ丁寧に作業を行い、無事に一日で終えることが出来ました。来年も綺麗で可憐なあじさいの花に会えますように。(丸山翔記)

寺子屋 (7/31)

七月三十一日、昨年に続き第二回寺子屋が開催されました。

今年では若草子供会(高幡地区)と流れ星子供会(三沢地区)の総勢三十名の参加となり、昨年以上の盛況となりました。



あじさい毬切り (7/11)

した。自己紹介からはじまり清浄体操にてリラクセス、その後、昨年に続き腕輪念珠作りを体験しました。二度目の子は、とてもスムーズにオリジナルの腕輪念珠を作る事が出来て満足そうにっていました。そして今年のメインであるウォークラリーを、四班に分かれて境内を巡りました。各班とも上級生が班長を務め、下級生の面倒を見ながらリーダーシップを発揮している様子は、とても小学生とは思えない程のたくましい姿でした。最後に五重塔の最上階からの景色を眺め、達成感を得た子供達の表情は満面の笑みにあふれていました。(速水記)



世界に一つだけの腕輪念珠作り
～寺子屋～

高幡俳壇

祐勝選

天

先先の茅の輪くぐるも旅の縁 多摩市 坂戸 啓子
(評) 夏越の日の旅、もういくつ潜ったかしら それも縁。

地

遠州の庭も一品夏料理 吉川市 山田 収一
(評) 遠州の庭に面した坊での接待 それこそ眼福。

人

赤とんぼたなびく夕日浄土かな 八王子市 石川 允義
(評) 西空にたなびく赤とんぼは正に浄土そのもの。

佳作

颯風過中洲にすくつと驚立ちぬ 日野市 北村 宗子
半夏生見上げてごらん星たちを 八王子市 福岡 悟
喜寿五人久闊を釵しビール乾す 府中市 小林 裕栄
花吹雪飛天の笛に促がされ 日野市 齊藤 勝実
濃紫陽花文人眠る花の寺 八王子市 久保田英夫
幾星霜富士より届く清水汲む 小平市 森岡 道生
万緑や山門くぐる人の列 八王子市 大串 若竹
十葉の闇より青き香をはなつ あきる野市 松崎 節子
大寺の風の涼しき護摩供かな 多摩市 阿部 茂助
湧きあがる生きる力や夏の雲 日野市 益本 恒夫

選者吟 高盛りの仏飯鯉に施餓鬼果つ

なにげなくつかっている仏教のことば―他愛(たわい・たあい)

「たわいのない話」とは、 つていないようです。

とりとめのない話のこと、 『仏性論』なる仏典には「般(はん)

「たわいのない相手」といえば、 若(にや)によるが故に自愛(じあい)の念を減

をいいます。この「たわい」 し、大悲によるが故に他愛(たあい)の

を「他愛」の漢字に当てるよ 念を生ず」と説かれています。

うですが、なぜ、この漢字を すなわち智慧によつて利己的

当てるようになったのかは解 な想いを無くし、慈悲によつ

高幡俳壇 作品募集

応募規定

一、はがき一枚に二句記載何枚でも可(無料)

一、選者は当山 川澄貫主

一、秀逸三句に記念品贈呈

一、投稿先

〒一九一〇〇三一

東京都日野市高幡七三三

高幡不動尊・山報係宛

○ご投句が多く大部分の方の句が掲載出来ませんが、悪しからずご諒承下さい。

お不動さま教えて?

ご質問 過去にいただいた「山報 高幡不動尊」を見なおしておりましたら、十一月に行われている「萬燈会・もみじ灯路」の案内や記事を目にしました。今秋には、お不動さまへお参りし、もみじ狩りと萬燈会に参加しようかと考えています。

そこで、質問なのですが、案内文の中に「七難即滅・七福即生を祈る」とあったのですが、この七難と七福とは、具体的にどういうものなのでしょうか?

また、萬燈会のいわれが知りたくなりました。どうかお不動さま教えてください。

お答え はい、お答えいたしました。高幡のお不動さまでは、毎年十一月の二十二日と二十三日の午後四時から、ご法話・ご詠歌の奉詠・萬燈会・塔婆供養などの行事が、また門前にて《もみじ灯路》が催されます。今年にご参加されるご予約のこと、山内一同、心よりお待ちしております。

さて、案内文の中の七難と七福についてですが、その内容は、經典によつてまちまちであり、一定ではありません。そこで、その中の二つをご紹介します。と思います。

まず、国を護(まも)ることを主題とする『仁王般若波羅蜜經』には、

案内文にある「七難即滅・七福即生」の句が見え、この句につづけて七難を挙げています。すなわち、一には太陽や月に日蝕(にっしやく)などの変異が現れること。二には夜空の星々に変異が現れること。三には火災、四には水害、五には暴風、六には干ばつなどによる不作、七には内外の敵による乱世が挙げられています。この七難を七福に転ずるには、本經典を誦誦して供養すべきことが説かれています。

つぎに、西遊記の三蔵法師のモデルとなった玄奘三蔵が訳した『藥師琉璃光如來本願功德經』には、人衆疾疫難(伝染病がはやること)・他国侵逼難(他国から侵略をうけること)・自界叛逆難(内乱が生じること)・星宿變怪難(彗星などの変異があること)・日月薄蝕難(日蝕や月蝕がおこること)・非時風雨難(水害や冷害)・過時不雨難(干ばつ)の七つの難を挙げ、これらを福へと転ずるには、藥師如來を供養すべきことが説かれています。

七福については、これらの經典には具体的な記述がありません。ただ、いずれも七難が無いことを七福と考えていたようです。

萬燈会のいわれについては、次号に掲載いたします。

皆様からのお便り

職場体験御礼のお手紙

先日は私たちの職場体験のために貴重なお時間をさいて頂きましてありがとうございます。ありがとうございました。

私は高幡不動で初めて写経をやりました。写経は漢文をいっぱい書くのでかなり時間もかかって大変でしたが、いつもはできない経験をしたのですごく良かったです。

職場体験で学んだことを、これからの人生や勉強に生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

六月三十日

日野市立三沢中学校

二年七組 沼沢 優

先日の職場体験ではお忙しいなか貴重な体験をさせていただきありがとうございます。

寺院という特殊な場所での体験はとても良い経験になりました。境内の掃除やお札の分解、完成したお札を信者さ



岩崎愛子さんのライブコンサート 5/28 五重塔々院

んにお渡しする事や写経などのことしか出来ない貴重な体験をさせていただきありがとうございました。しかし、お札を信者さんにお渡しする時に声が小さくなってしまい

した。皆様に温かく迎えていただき、楽しく過ごす事ができました。実際に掃除を体験し、境内やお寺の廊下の掃除はとても大変でした。ですが、来ている人達がより気持ちよくお参りできるようにしたいという気持ちで、一生懸命仕事されている姿が印象に残っています。

お札は普段何気なく見ている物ですがたくさんの方の手によって手間をかけていることを知りました。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。暑い日が続きますが皆様お体を大切になさってください。

七月三日

日野市立七生中学校

二年四組 浅田 優人

すみませんでした。この経験を生かし接客などをする場合

は声を大きくして対応したい

七月三日

日野市立七生中学校

二年四組 澤田 純志

先月はお忙しいところ私達の職場体験のためにお時間をいただきありがとうございました。

御◆案内

交通安全祈願

午前九時～午後五時
午後四時半までにお申込下さい。

○ご祈願料 金三千円也

御護摩修行

○平日 八時・十時・
十一時半・一時・三時

○土曜・日曜・祝日
八時・十時・十一時半・
一時・二時半・四時

○但し二日、十五日の午前中は
五時・十時・十一時半

○ご縁日（二十八日）
五時・九時・十時・十一時・
十二時・一時・二時半・四時

○御護摩料

金参千円也
金五千円也
金壹万円也

（大護摩）金参万円以上

ご縁日 毎月二十八日
境内に市が立ち参道は歩行者天国になります。

フリーマーケット（リサイクル市）
毎月第二日曜日（雨天中止）
ござれ市（がらくた市）
毎月第三日曜日（雨天決行）
お焚き上げ
毎月十五日午前九時
月例写経会
毎月二十一日午後一時半
千体地藏尊月例法要
毎月二十四日午後二時

奥殿拝観（月曜休館）
午前九時～午後四時
拝観料 三〇〇円

大日堂 鳴り龍・襷絵拝観
午前九時～午後四時
参拝料 二〇〇円

（月曜休館）
尚法要中は拝観一時休止になりますのでご諒承下さい。

編集室だより

今年の六月は空梅雨で七月に入ると連日暑さが続きました。九州では今まで経験したことのない記録的な雨量で多くの方々が入ると連日雨続きで野菜は急騰し人々の生活を苦しめています。これも地球温暖化の影響でしょうか。今日は久しぶりに青空の中、山報の編集をしています。山報は今回で百号になりました。

発行所

〒191-0031 東京都日野市高幡733

別格本山
高幡山金剛寺

電話 (042) 591-0032(代)
FAX (042) 593-3038

発行人 杉田 純一
編集人

年4回発行・再生紙使用